

彦根市立病院と合同で事業場を対象とした 治療と仕事の両立支援のセミナーを実施しました。



令和5年2月 滋賀産業保健総合支援センター

滋賀産業保健総合支援センターでは、治療と仕事の両立支援を普及させるため、事業場に対して啓発教育を実施しております。彦根市立病院では、地域住民の健康意識向上等を目的とした健康出前講座を開催していますが、広く現役世代に周知を図ろうと、当センターの啓発教育を希望した2事業場に対して1/23、1/31、彦根市立病院と合同でセミナーを実施しました。

セミナーの内容について

サラリーマン金太郎 **治療と仕事の両立支援**

**もしも「サラリーマン金太郎」が
中小企業の社長だったら…**

登場人物

厚生労働省、(株) 労働者健康安全機構作成リーフレットより

 伝説の熱血サラリーマン。
現在はある**中小企業の社長**を務めている。
部下の石川ががんになったことをきっかけに、「治療と仕事の両立支援」の必要性に気づく。

矢島金太郎
(やしましんたろう)

滋賀産業保健総合支援センター

4

滋賀産業保健総合支援センター

「サラリーマン金太郎」をモデルとしてがんの告知を受けた労働者と、会社としての体制、両立支援の進め方を分かりやすく解説するとともに、復職に関する過去の判例を踏まえた就業規則の整備などを説明しました。

彦根市立病院

現職の看護師から、がん治療の最新情報と職場で必要なサポートについて、事例を交えてわかりやすく解説いただきました。



「就労と療養の継続のために
～病院からお伝えたいこと～」



彦根市立病院 がん相談支援センター
ソーシャルワーカー/両立支援コーディネーター
藤井 滋生

院内にあるがん相談支援センターのソーシャルワーカーからは、相談窓口のご紹介のほか、実際に行われた相談事例のご紹介が行われました。彦根市立病院には、当センターの出張相談窓口がありますので、今後も相互連携を図って活動していきたいと思っています。